

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立乙訓高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【I・II・V】
2実施対象者	スポーツ健康科学科 1年生（40名）、2年生（40名） 普通科「スポーツ」講座選択者 2年生（27名）
3展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ スポーツI,II,III、スポーツ概論） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4目 標 （ねらい）	これまで数多くの一flowアスリート（プロ野球、プロサッカー選手等）に指導されてきた秋本氏を講師に招き、経験談を聞くことにより、トップアスリートになるための人間力を高めることを目指す。
5取組内容	講演会「トップアスリートの条件」（50分）  実技「速く走る方法」（50分） 

6主な成果	<p>【講演】 トップアスリートになるための方法や自分との向き合い方、考え方を講話いただいた。頑張りたい何かに取り組むときには、単に目の前のことをこなすだけではなく「Be（どうなりたいか）、Do（行動）、Have（結果）」この3STEP を経て前進することが重要であること。そして、そこに「責任感」を持つことができれば求めていることを最後まで全うしやりきることができるという考え方をご教示いただいた。</p> <p>【実技】 「速く走るため」のコツを伝授していただいた。 速く走るためには、特に姿勢が大事で、それは陸上競技だけではなく、どのスポーツにおいても応用することができるので大変勉強になった。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>講演内容を事前に何度も相談させていただきながら決めることができた。</p>
8主な課題等	<p>今後も、将来を見据えた目標設定を行い、具現化するヒントになるようなスポーツを通した将来像に結びつく活動を経験させていきたい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>内容について検討中</p>